

2020 年後期

1 要約

アーリング・カッジは歩くことが好きな両親のもとで育った。

そして、歩くという行為そのものに価値を見出した。

彼は若くして南極や北極を横断し、エベレストにも登頂した。

彼にとって歩くことは健康のためだけではない。

それは思索の時間であり、内に潜んでいた気持ちや感情を形あるものにする行為だ。

ソクラテスやダーウィンのような偉人たちでさえ、

歩くことによって思索を深め、自分の考えを発展させた。

アップル創業者のステーブ・ジョブズが歩く会議を導入していたのも同じ理由からだろう。

歩くことは必ず素晴らしいものに出会えることを約束するとは限らない。

しかし、必ず何かを経験できる。

それが歩くことの価値だ。

ここを落とす
と大減点

ここを落とす
と大減点

2 作文

私たち10代は学校、部活、塾、習い事と過密なスケジュールで生活を送っている。

しかし、考える余裕がないかと言えば、それは否だ。

少しの工夫と発想の転換で心の余裕や思索の時間は作り出せると私は考える。

本文は「歩く」行為そのものに価値があると主張していた。

交通機関が発達した世界で、歩くことは社会を別の角度から見る機会を私たちに与える。

それは思索のきっかけになり、新しいものを生み出す基礎になる。

しかし、別の角度から見ることなら「歩く」以外でもできるだろう。

例えば、メールやラインでなく手紙を書く。

ペットではなく野生の動物を観察する。

私自身も休日に一人で電車に乗って10キロほど離れた観光地に散策に行くことがある。

電車の車窓から流れ行く街の風景を眺める。

その時、自分の将来や街の人の暮らしについて考えている自分に気づく。

10代も考えている。

そして、新しいものを世に生み出そうとしている。

3 英作文

I imagine that artificial intelligence will spread to every corner in our life.

For example, a thin display with AI in will appear.

It can be bent like a piece of paper and be carried in the pocket.

People get papers or magazines through it or write down on it whenever they want to do.

In addition, more powerful drones will play a big role.

They transport not only goods but also passengers.

I'm sure that many invisible ways will be made in the air.

Therefore, the front door will be built on the top of the house.